



Jabee

釧路高専JABEE認定に向けて 〔改訂版〕

釧路工業高等専門学校は、JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定を受けるための申請を平成18年度に行うことと予定しています。JABEEの認定を受けることによって、我が校の技術者教育が国際水準に達していることが証明され、卒業生は数々の恩恵を受けることができます。

JABEE認定校になることは、釧路高専の大きな目標です。JABEE認定の申請を通じて、我が校の教育について一層の改善を図ることができると確信しています。

JABEE認定を受ける前に、学生諸君および保護者の皆さん、卒業生の皆さん、産業界の皆さんに、JABEEの概要と我が校がJABEE認定申請を予定していることをご承知いただかなければなりません。そのためにこの小冊子を作成しました。

以上の事情をご理解いただき、JABEE認定の過程で生ずる種々の作業に積極的にご参加、ご協力くださるよう心からお願いします。

釧路工業高等専門学校 校長 木谷 勝

JABEEプログラムの公開

今日の産業界は大きな国際化の波の中で、あらゆる分野において複合化・融合化・高度化による競争力が求められています。そのため、企業においては専門領域だけではなく、境界領域にも関心や知識があり、創造力、問題発見・解決能力をもつ即戦力となる技術者が求められています。また、これと同時に、地域社会に深く根付き、地域の社会的・技術的要請に応え、地域と連携し、地域に貢献する技術者も必要とされています。特に、産業の国際化の中で、世界に通用する技術者を育成することは高等教育機関における大きな課題です。

このような背景において、釧路高専は平成18年度(2006年度)にJABEE(日本技術者教育認定機構)による教育プログラムの審査を受け、認定されることを目標として設定しました。対象は、主として本科4年次(3年次に配当された大学相当の科目の履修を含む。)から専攻科2年次までの4年間に相当する学習・教育に対してであり、これについて、一貫した一つの教育プログラムを設定しました。

以下に、教育プログラム名および学習・教育目標について示します。

認定を受けようとするプログラム

審査分野：工学「融合複合・新領域」分野

教育プログラム名：生産情報システム工学

理念：「生産情報システム工学」教育プログラムは、工業生産に携わる技術者を養成するためのプログラムであり、情報技術を共通基礎技術として位置づけます。

このプログラムでは、機械・電気・電子・情報・建築の専門および周辺分野に関する問題解決・デザイン能力に加え、情報処理能力の育成に重点を置き、工学一般としての色彩の強い教育体系の中で、国際的にも通用する技術者の育成を目指します。

本校のJABEEプログラムにおける学習・教育目標

釧路高専は、

- 創造力、問題発見・解決能力をもち即戦力となる技術者
- 地域の社会的・技術的要請に応え、地域と連携し、地域に貢献する技術者

の育成を大目標として掲げ、これを達成するために以下の7つの学習・教育目標を設定しています。

JABEEで要求されるのは、この教育プログラムを修了した学生諸君の成果(outcomes)です。「説明」の項目に示されているように、プログラム修了生は「～できる」ことが保証されていなければなりません。釧路高専は「～できる」学生を養成するために、この学習・教育目標を含めた教育システムを常に改善していきます。学生諸君にあっては、この学習・教育目標を踏まえたうえで、「生産情報システム工学」教育プログラム修了生としての要件をよく理解し、勉学に励んでください。

A (技術者として社会に貢献するために) 人類の歴史的な背景、文化や価値観の多様性を理解し、地球的規模で社会問題や環境問題を考える能力、および技術が社会や環境に与える影響を認識し、技術者が社会に対して負っている責任を理解する能力を身につける。

[説明] A-1 人間として必要とされる社会的感覚(国際、社会、環境、文化)を身につけている。

A-2 技術者に必要とされる技術者倫理を身につけている。

B (地域社会に貢献するために) 実践的な体験を通して、地域の産業や社会の抱える課題に対処できる能力を身につける。

[説明] B-1 インターンシップ、共同研究、実験、演習、ボランティア活動などを通じて、自ら地域にかかわることができる。

B-2 インターンシップ、共同研究、実験、演習、ボランティア活動などを通じて、地域に関連した課題に技術者として取り組める。

C (多様な技術的課題を解決できるように) 工学の幅広い基礎知識(数学、自然科学、情報技術、基礎工学など)を修得し、それらを応用する能力を身につける。

[説明] C-1 数学・自然科学の基礎知識を理解している。

C-2 情報技術・基礎工学に関する基礎知識を身につけている。

C-3 与えられる技術的問題について、数学・自然科学・情報技術・基礎工学の基礎知識を用いて対応することができる。

D 技術者として自己の基盤となる専門分野の知識を修得し、それを応用する能力を身につける。

[説明] D-1 専門分野の基礎知識を身につけている。

D-2 与えられる技術的問題について、自分の持つ専門分野の基礎知識を応用して対応することができる。

E 多様な技術的課題を分析・総合し、解決するための計画をたて、その計画を実行して課題を解決するデザイン能力を身につける。さらに、チームワークで仕事をする能力を身につける。

[説明] E-1 技術的課題を分析できる。

E-2 課題解決の計画を立案できる。

E-3 計画を実行し、問題解決できる。

E-4 これらの工程において、チームによる分担作業を組織し統括することができる。あるいはチームの一員として協調作業ができる。

F 文章、口頭、図表や視覚的な方法によって、効果的にコミュニケーションができる能力を身につける。すなわち、日本語で論理的に記述し討論する能力、および簡単な論理的文章を英語で記述し、基本的な英会話によるコミュニケーションを行うための基礎知識を身につける。

[説明] F-1 課題の内容に基づき、説明に必要な論理的資料を、情報機器を用いて作成できる。

F-2 作成した資料に基づき、情報機器を用いて口頭による説明ができる。

F-3 受け手の状況を考慮し、工夫した説明ができる。

F-4 質問内容に関する適切な対応(質問内容の理解、討論に必要な情報整理・提供)ができる。

F-5 簡単な英語を用いての概要の記述ができる。

F-6 簡単な英語表現を用いた説明、簡単な英語討論を通してコミュニケーションが図れる。

G (技術の進展や社会の変化に対応できるように) 継続して専門知識や関連する分野の知識を学習する習慣を身につける。

[説明] G-1 常に新しい知識・技術を得る手段を知り、実践的に活用できる。

G-2 専門分野の学術雑誌、関連分野の雑誌に掲載された論文を読む習慣を身につけている。

G-3 電子的媒体を活用した情報収集を行うことができる。

G-4 幅広い視点で技術を見つめることにより、技術の発展の方向性を理解することができる。

釧路高専におけるJABEEへの取組 (H14.11～)

- H14.11.11 審査員養成研修会「工学(融合複合・新領域)分野」に参加／新日鐵住金研修センター
- H15.3.26 高等専門学校を対象としたJABEE試行審査会報告会(国専協)に参加／東京医科歯科大学
- H15.7～ JABEE関連各種研修会・研究会に参加(～H15.12)
- H15.10.14 運営会議でJABEE準備WG設置を決定
- H15.11.11 第1回JABEE準備WGで取組方法、分野、周知方法等を検討
- H15.11.12 運営会議で校長が平成18年度受審の意向表明
- H15.11.19 学内サイトに「JABEE情報」を掲載し、教職員に取組状況等周知
- H15.12.18 第2回JABEE準備WGでプログラム名及び学習・教育目標の設定等について検討
- H16.1.9 シンポジウム「高専の当面する課題」(JABEE等)に参加／函館工業高等専門学校
- H16.1.27 (社)日本工学教育協会専務理事 植原 治 氏による「技術者教育認定制度について」講演会を開催
- H16.2.26 徳山高専機械制御工学専攻科長 森野 数博 氏による「JABEE受審について」講演会を開催
- H16.3.8 日本機械学会工学教育センター長 大輪 武司 氏による「企業が期待する高等教育とJABEE」講演及び情報交換会に参加／託岡電波工業高等専門学校
- H16.3.4～22 第3回JABEE準備WGでプログラム名及び学習・教育目標原案を作成
- H16.3.30 運営会議でプログラム名及び学習・教育目標を決定、教職員に対して周知
- H16.4.16 第4回JABEE準備WGで今後の活動方針、プログラム名及び学習・教育目標の改善、授業改善システムの構築等について検討
- H16.4.23 プログラム名、学習・教育目標を掲載した、JABEEパンフレットを作成
- H16.4.26～27 全学生に対し、JABEEパンフレットを配布し、プログラム名、学習・教育目標を説明、周知
- H16.4.27 JABEEパンフレットをホームページに掲載。プログラム名、学習・教育目標を社会に公開
- H16.5.12 学習・教育目標をHR教室、学生玄関等学内に掲示
- H16.5.28 第5回JABEE準備WGで自己点検書作成のためのSG設置と基準1～6ごとに自己点検の分担を決定
- H16.6.17 第6回JABEE準備WGで自己点検内容について検討
- H16.6.24 釧路高専より第75号で、保護者に対しJABEEへの取組を説明
- H16.6.28 運営会議で「教育改善のためのスパイラルアップシステム」構築の合意。第1小委員会(統括)を設置
- H16.7～ JABEE関連各種研修会・研究会に参加(～H16.10)
- H16.7.6 第1回第1小委員会開催
- H16.7.28 臨時教員会議で、第1小委員会報告。JABEE準備WGによる自己点検により抽出された課題ごとに小委員会の設置を提言
- H16.8.5 JABEE認定に向けて以下の各小委員会を設置
第2「社会ニーズ調査と学習・教育目標の設定・改善」、
第3「進級・卒業・JABEEプログラムへの入学と編入学」、
第4「カリキュラムの設計」、第5「公表と周知」、第6「記録保存」、
第7「授業評価と改善」、第8「教育環境の整備」
- H16.11.29 臨時教員会議でJABEE認定に向けての各小委員会活動報告
- H16.12.20 臨時教員会議で学習・教育目標の改定(第1次)について合意。各小委員会活動報告の実施体制について合意
- H17.2.10 教育学習レビュー室設置
- H17.3.28 学習・教育目標(第1次改訂版)及びプログラムの理念を掲載した、JABEEパンフレット(改訂版)を作成、公開。また、学外向けPRパンフレットを作成、公開



釧路工業高等専門学校

〒084-0916 釧路市大楽毛西2丁目32番1号

TEL(ダイヤルイン) 0154-57-8041

FAX 0154-57-5360

KUSHIRO NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

Otanoshike-nishi 232-1, Kushiro, Hokkaido 084-0916 JAPAN